

各連携事業における評価指標

約5割(※)の指標において「達成済み」

※新型コロナウイルス感染症の影響を除くと8割以上

■59指標(現時点における評価不可12指標を除く。)のうち、達成済みは33指標であり、全体の5割程度にとどまるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、達成不可となった18指標を除く41指標中では、8割以上が達成済みとなり、概ね良好な水準にある。このほか、現下の社会情勢等を踏まえ、ビジョン掲載外の新たな取組についても柔軟に実施した。

〔R2圏域決算額(対事業費見込額比)〕4,955百万円(94.6%)

<内訳>経済成長:1,467百万円(96.4%)、都市機能:2,229百万円(92.2%)

生活関連:1,260百万円(96.8%)

役割	◎	○	△	×	小計	—	合計
1 圏域全体の経済成長のけん引	6	—	—	10(6)	16	1	17
2 高次の都市機能の業績・強化	2	—	—	3(2)	5	3	8
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	25	—	—	13(10)	38	8	46
合計	33	—	—	26(18)	59	12	71

〔評価凡例〕 ◎:達成済み ○:達成見込 △:達成不可見込 ×:達成不可 —:評価不可

※原則、2021年3月末時点における評価

※()内は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたもの

<達成済みの主な事業>

【経済】創業の促進

【経済】新製品・新技術開発のための支援

【都市】都心アクセス強化に関する情報共有

【生活】保育サービスの向上に向けた取組の推進

【生活】文化的な教育活動の充実に向けた取組の推進

【生活】圏域内農産物の消費促進

【生活】圏域外からの移住促進

【生活】さっぽろ圏人材育成・確保基金の造成

ほか

<達成不可の主な事業>

【経済】MICE誘致の推進

【生活】にぎわいの創出

【生活】職員研修等の合同実施

ほか

【参考】3つの役割における重要業績評価指標(KPI)

役割	指標名	基準値(現状値)	実績値(参考値)	目標値
1 圏域全体の経済成長のけん引	圏域内民営事業所売上	27兆9千億円(2015)	—	30兆円(2023)
	観光入込客数	37,076千人(2017)	36,620千人(2019)	44,000千人(2023)
2 高次の都市機能の集積・強化	札幌駅の乗車人員数(1日平均)	189,932人(2017)	122,400人(2020)	現状値からの増加(2023)
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	20~29歳人口における道外への社会増減数	▲2,805人(2017)	▲3,252人(2019)	▲1,400人(2023)